

府立成人病センターの建替えに関するアンケート結果について

1 目的

専門家会議の議論において、成人病センターは府全域をカバーするがん専門病院であるため、広く府民に対して意見を聞くことが必要であるとの意見があり実施した。

2 対象

府民 3,000 名及び計画地周辺 3 区民（中央区、東成区、城東区）500 名

3 アンケート手法・実施時期

民間インターネット調査会社に調査委託・平成 23 年 8 月中旬

4 アンケート内容と分析手法

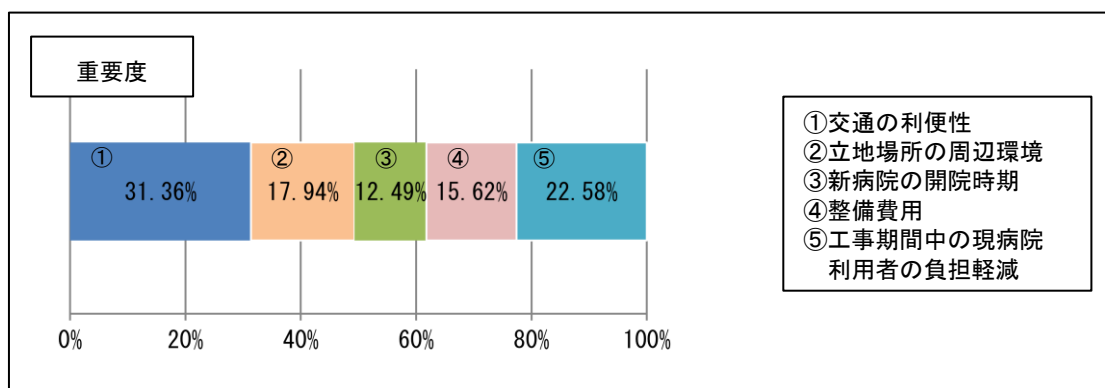
AHP 法（階層分析法）により、成人病センターの立地場所の選定について、回答者に 5 つの評価基準（①交通利便性、②立地場所の周辺環境、③新病院の開院時期、④整備費用、⑤工事期間中の現病院利用者の負担軽減）の重要度と評価基準ごとの大手前地区・森之宮地区の立地場所としての優位度についての回答を求め、各評価基準の重要度を加えて両地区の総合評価を算出した。

5 結果概要

(1) 5 つの評価基準の重要度

病院の建替えに際して立地場所を考える場合に、何をどの程度重要だと考えるか、府民 3,000 名及び計画地周辺 3 区民 500 名を対象に、その優先度についての回答を求めた。

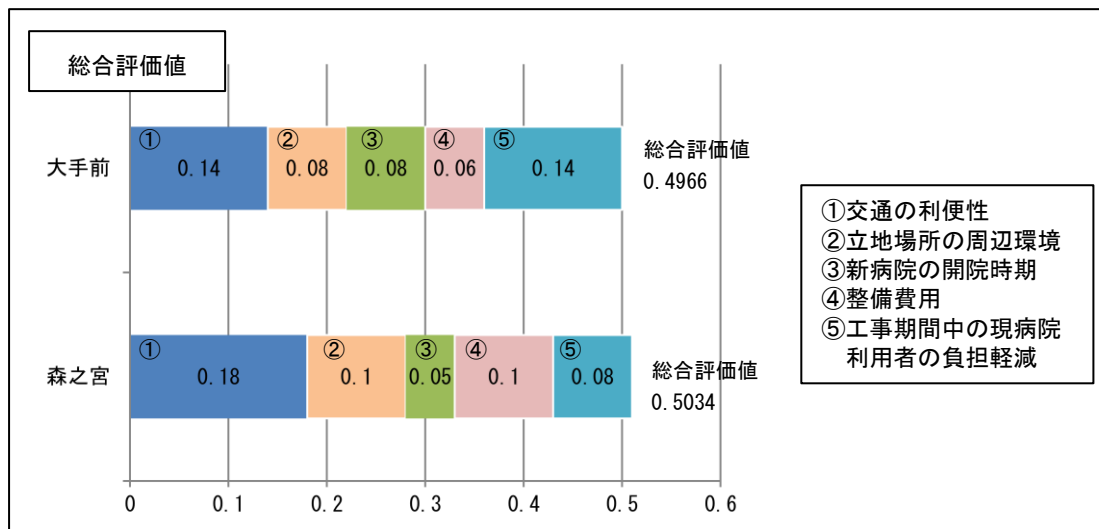
最も重視する点は、「交通の利便性」で、以下、「工事期間中の現病院利用者の負担軽減」、「立地場所の周辺環境」、「整備費用」、「新病院の開院時期」と続く。



(2) 大手前と森之宮の比較

① 府民 3,000 名の集計結果

府民 3,000 人に、5 つの評価基準により、大手前地区と森之宮地区のどちらが望ましいと考えるか回答を求めた。結果は、両地区とも同程度となり、優位な差異はなかった。



ただし、居住地域別にみると、次のとおり相違がみられた。(詳細は〈参考〉を参照) 豊能、三島の 2 地域では、大手前の総合評価が森之宮の総合評価を上回った。

一方、中河内、南河内の 2 地域では、逆に、森之宮の総合評価が大手前の総合評価を上回った。

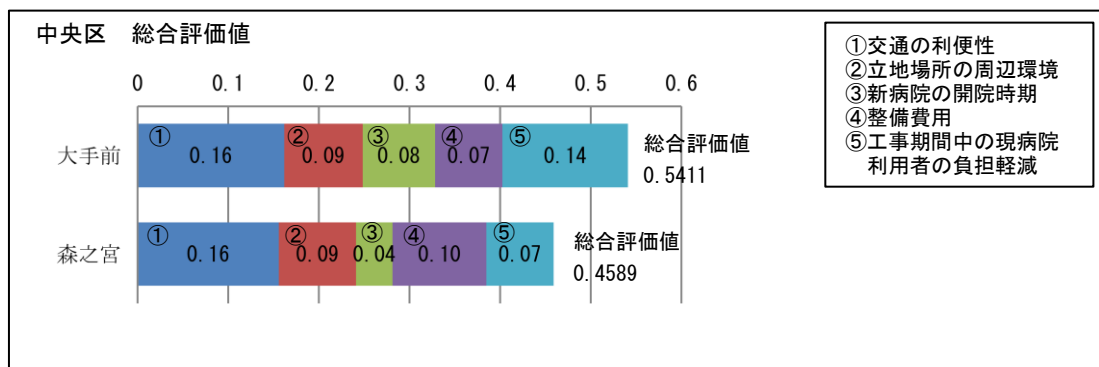
また、大阪市内、北河内、泉北、泉南の 4 地域では、大手前と森之宮の総合評価は同程度であった。

② 計画地周辺 3 区 500 名の集計結果

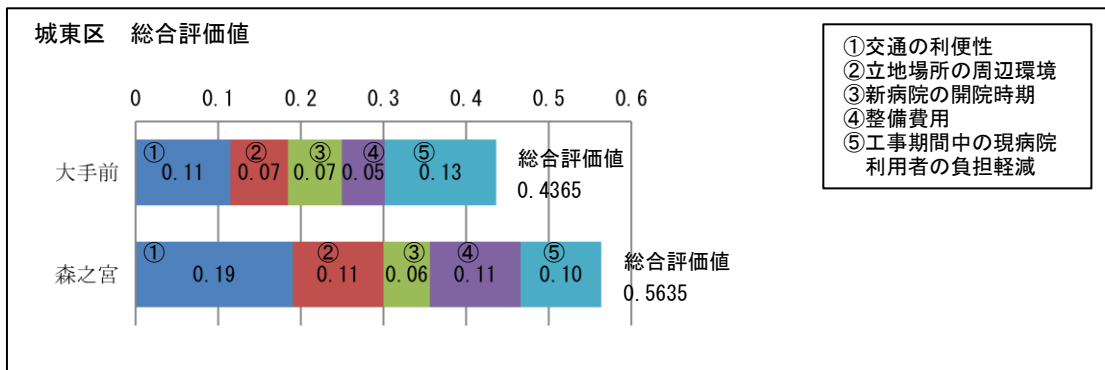
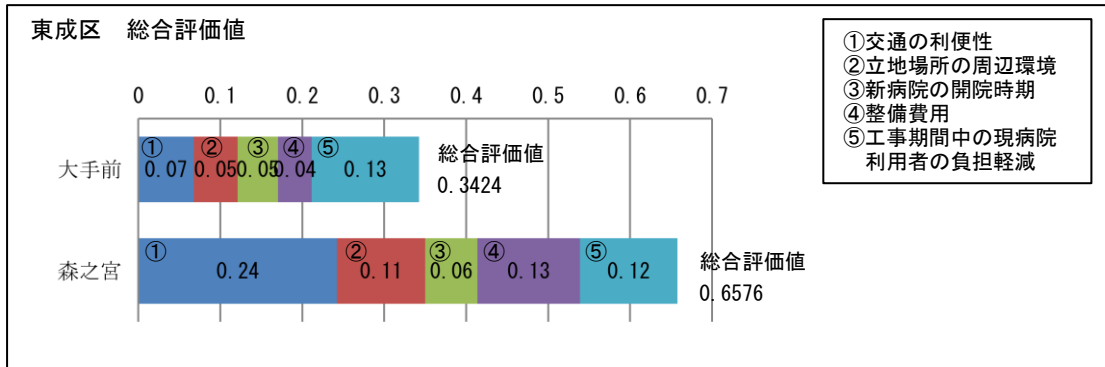
中央区、東成区、城東区に居住する 500 名に、大手前地区と森之宮地区のどちらが望ましいと考えるか回答を求めた。

結果は、区別にみると、次のとおりとなった。

中央区では、大手前の総合評価が森之宮の総合評価を上回った。



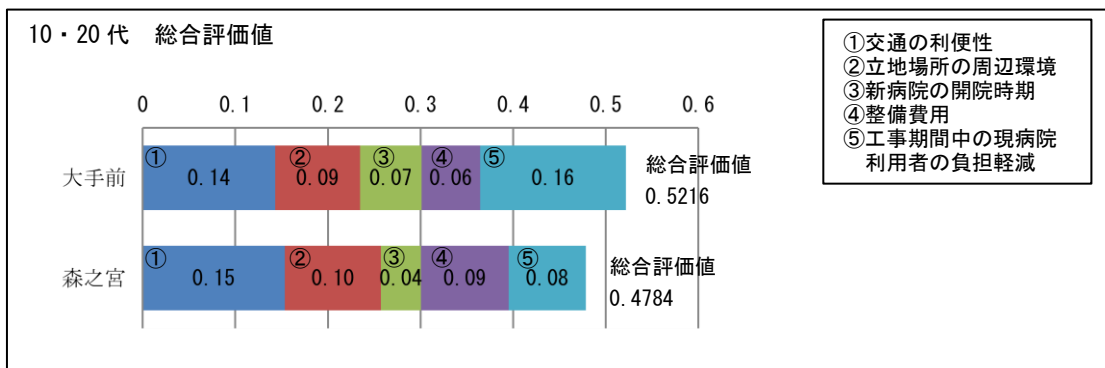
東成区と城東区については、森之宮の総合評価が大手前の総合評価を上回った。これは、交通の利便性を重要視したためである。



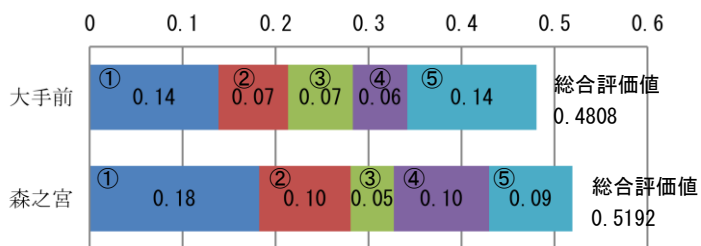
③年齢階層別の集計結果

ここでは、府民 3,000 人の年代別に、5 つの評価基準により、大手前地区と森之宮地区のどちらが望ましいと考えるか回答を求めた。

結果は、次のとおり 30・40 代では、森之宮の総合評価が大手前の総合評価を上回った。逆に、10・20 代では、大手前の総合評価が森之宮の総合評価を上回った。また、50 代と 60・70 代では、大手前と森之宮の総合評価は同程度であった。

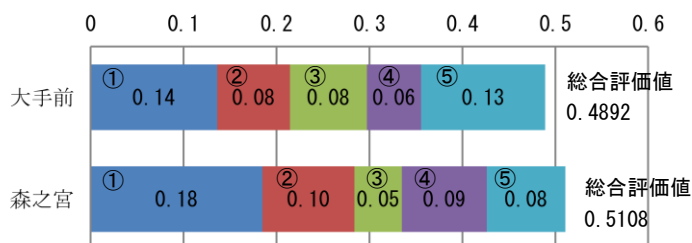


30・40代 総合評価値



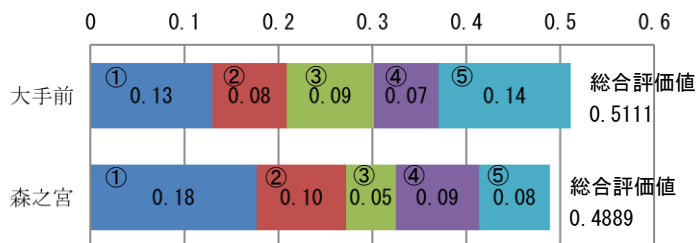
- ① 交通の利便性
- ② 立地場所の周辺環境
- ③ 新病院の開院時期
- ④ 整備費用
- ⑤ 工事期間中の現病院利用者の負担軽減

50代 総合評価値



- ① 交通の利便性
- ② 立地場所の周辺環境
- ③ 新病院の開院時期
- ④ 整備費用
- ⑤ 工事期間中の現病院利用者の負担軽減

60・70代 総合評価値



- ① 交通の利便性
- ② 立地場所の周辺環境
- ③ 新病院の開院時期
- ④ 整備費用
- ⑤ 工事期間中の現病院利用者の負担軽減